

1. 授業の目的と概要

「理論経済学Ⅱ演習 I a」と連携し、動学的一般均衡マクロモデルのコンピュータ実習を行う。

2. 学習の到達目標

コンピュータを用いたマクロ経済のシミュレーション及び実証分析の方法を習得する。

3. 授業の内容・方法と進度予定

加藤涼「現代マクロ経済学講義－動学的一般均衡モデル入門」を教科書として、Matlab を用いたコンピュータ実習を実施する。内容は以下の通り。なお、後半のトピックは演習 I b で取り扱うので注意すること。

1. 動学的一般均衡モデル－マクロ経済学の再出発
2. 財市場の不完全性－New IS-LM モデルと価格の硬直性
3. 資本の不完全性－流動性の理論と景気変動
4. 労働市場の不完全性－労働市場のサーチと産業構造調整
5. 最適金融政策の理論－インフレ目標の理論モデル
6. 動学的一般均衡モデルにおける最適金融政策

4. 成績評価方法

平常の参加状況およびレポートによる。

5. 教科書と参考書

加藤涼「現代マクロ経済学講義－動学的一般均衡モデル入門」東洋経済新報社 2007

吉田和信「MATLAB による動的システムシミュレーション入門」

<http://www.ecs.shimane-u.ac.jp/~kyoshida/matlab.htm> よりダウンロード可能

6. 予習と復習

吉田和信「MATLAB による動的システムシミュレーション入門」は大変簡明に書かれているので、Matlab を利用したことのないものは受講前に当該書第 1 章を用い Matlab の基本的な操作に親しんでおくことが望ましい。

7. 履修の条件

「理論経済学Ⅱ演習 I ab」「応用マクロ経済学演習 I ab」を併せて履修すること。受講者が基礎的なコンピュータ操作・線形代数・中級レベルのマクロ経済学に関する知識を持っていることを前提とする。また、コンピュータ実習を行うので、実習室のユーザー ID を予め取得しておくこと。

- オフィスアワー、連絡先は授業時にアナウンスする。